

# 林業福島

No. **640**

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会  
会長 齋藤卓夫



ふくしまから  
はじめよう。

Future From Fukushima.

**12** 2017

監 修 ■ 福島県農林水産部  
表紙の写真 ■ 森林は笑顔の泉



# 経済の時間

公益財団法人ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団  
理事長 菊池 莊 藏

今年度六月から、木村吉幸氏の後任として財団の理事長役を務めることになりました。私は、福島大学で長く経済学の歴史について専門的な研究・教育に関わっていましたので、本来の専門は歴史と経済ということになります。その私が森林関連分野、さらにフォレスト・エコ・ライフ財団と関わるようになったご縁を考えてみますと、まずは福島県の森林環境税・基金の創設以来「森林の未来を考える懇談会」で十余年ばかり座長を続けてきたこと、さらにそれ以前から「福島市小鳥の森」の運営協議会で間接的にその運営に関わっていたこと、などでしょうか。経済を専門とする私が、森林・林業や野生生物関連に接するようになったのは、福島への赴任早々、大学近辺でのオオタカの子育てを観察・記録したものを故峰谷剛先生との共同執筆で『福島生物』（二九八六）に掲載したことから始まります。以来、勤務先の大学近隣の林で繁殖していた猛禽類（オオタカ・ハイタカ・サシバ・ノスリ・トビなど）の追っかけ・観察を続けてきましたが、そのフィールドでカヤネズミの巣を見つけ、当時教育学部で生物担当の前理事長の木村吉幸先生に報告、その生息域の北限を更新する論文を執筆していただいた、というご縁もありました。

さて、本来の私のフィールドは、「経済学」が生まれた頃に遡ります。十八世紀の英国がその揺籃を提供しました。経済学の古典『国富論』（一七七六年）を書いたA・スミス、それより約半世紀前のD・デフォー（あの『ロビンソン・クルーソー漂流記』の著者）は、実は様々な経済関係の書物を書いておりました。幅広い彼の著作を読んでいますと、当時の様々な産業に触れているなかに、英国の石炭業や製鉄業についての記述も出てきます。当時のイングラウンドでは製鉄に必要な燃料としての木材・森林はほぼ切り尽くされており、造船用の木材や防水に使うタール・ピッチまでもがノルウェーから輸入されていたことなどもわかります。石炭（コークス）を使った製鉄技術はまだ確立されていませんでした。伝説のロビン・フットが隠れ住んだシャールウッドの森のイメージは、世紀初頭にはすでに失われていたのかもしれない。王室林（royal forest）は我が国の御料林のように保護されていたと思われませんが、経済学誕生の頃の英国で林業（育林）が産業として成り立っていたのかどうかは怪しい感じがします。「当時の経済学」では農業と商業活動（工業生産を含む）との対比はしばしば論じられていましたが、林業についての記述は希薄だったように思われます。現代まで引き継がれてきた「経済学」が、数十年・数百年という世代を越えた生業（なりわい）をどのように「理論化」できるのか。三ヶ月単位での企業業績を判断して株価が動く、さらに一秒に数千回の取引が行われるような現代世界、その環境下で漠然とそんなことを考えている昨今です。

## 《も く じ》

とびら	
経済の時間	
公益財団法人ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団	
理事長 菊池 莊 藏	1
第69回全国植樹祭200日前記念イベントを開催しました！	2
第42回福島県林業祭を開催しました	3～4
平成29年度福島県林業コンクール	5
第14回ふくしま森林・林業写真コンクール	5
第68回福島県学校関係緑化コンクール	6
第20回福島県森林組合連合会良質材展示会	6
平成29年度福島県きのこ品評会	7
平成29年度森林土木技術研修会	8
普及指導員通信	9
森連だより	10
「自然に親しむ」	11
木材市況・ふくしま東西南北	12
はなしのひろば・お知らせコーナー	13

# 第69回全国植樹祭 2018

育てよう 希望の森を いのちの森を

## 第六九回全国植樹祭 二百日前記念イベントを開催しました！

第六九回全国植樹祭福島県実行委員会事務局  
(福島県農林水産部全国植樹祭推進室内)

### 第十五回うつくしま育樹祭 第六九回全国植樹祭二百日前記念イベント

平成二九年十一月十一日(土)に、南相馬市で第十五回うつくしま育樹祭を開催しました。

当日は千名を超える参加者にお越しいただき、苗木の寄贈セレモニーや育樹・植樹活動などを行いました。苗木の寄贈セレモニーでは、今年五月の第六八回全国植樹祭富山大会で引き継がれたエノキや、みどりの感謝祭で国土緑化推進機構から寄贈されたクロマツ苗木の紹介がされました。また、本県の震災からの復興を祈念して行われている「とうほくとつとり・とうほくの海岸防災林再生プロジェクト」として、クロマツ苗木七百本が鳥取県より寄贈されました。



メインイベントである育樹活動では、クロマツや南相馬市鎮魂復興市民植樹祭で植樹された広葉樹の手入れを行いました。また、植樹活動では、海岸防災林に約千本の広葉樹苗木を植樹しました。

その他にも、交流・体験イベントが開かれ、全国植樹祭推進室では、全国植樹祭の本番で展示するメッセージのぼり旗や木製プランターの製作など様々なブースを出展し、多くの県民のみなさまにお越しいただきました。

### 第六九回全国植樹祭ふくしま二〇一八 カウントダウンスタートセレモニー

第六九回全国植樹祭まで残り二百日の節目となる平成二九年十一月二日(水)に、郡山市でカウントダウンスタートセレモニーを開催しました。

セレモニーでは、全国植樹祭までの残日数を表示するカウントダウンボードの除幕を行うとともに、「GREEN」書き下ろしの大会テーマソング「福ある島」の発表を行いました。





▲開会式  
植樹祭バージョンキビタンも登場



◀ ▲林業担い手の主張  
出演者の皆さん

▼とち餅つき実演・試食会



▲雨の中でもたくさんの方に  
御来場いただきました

# 第四二回福島県林業祭を開催しました

福島県林業祭実行委員会

第四二回福島県林業祭を、十月二二日、二三日の二日間にわたり、郡山市の福島県林業研究センターにおいて開催しました。

両日とも雨天に見舞われ、例年と比べ賑わいは少なかったものの、約四、〇〇〇名の方にご来場いただきました。

二一日十時より、本館前において開会式を行いました。佐竹浩福島県林業祭実行委員会委員長のあいさつに続いて、遊佐久男県議会農林水産委員会委員長らがテープカットを行い、新地町からお越しいただいた鹿狼アルプホルン倶楽部のファンファーレが花を添えました。

本館前では、開会式に引き続き、鹿狼アルプホルン倶楽部の「森のコンサート」が行われ、二日目には、福島県や東京都を中心に活動されているバイオリニスト加藤菜々子さんによる演奏が観客のみなさんを魅了していました。県産材の家をPRする「模擬上棟式」は、二日間で四回行われ、模擬上棟式を体験する楽しい声が響きわたりました。また、木の枝クラフト、いす作り、竹細工体験、木製ボールペンづくりなどの木工工作コーナーや飲食コーナーも設けられました。「とち餅つき実演・試食会」は今回初めて開催され、参加者は振る舞われたとち餅の味を堪能していました。「森のオークション」では、チェーンソーアート作品をはじめ、県内各地より持ち寄られた品が、次々と元気な掛け声で競り落とされました。

平成三〇年に本県で開催される全国林業後継者大会の成功に向けて、今回初めて実施された「林業担い手の主張」では、県内の林業を担う方が各地から集まり、森林・林業に対する思いを来場者に向けて発表しました。来場者にも、県内の林業の担い手がどんな思いで働いているのかなどを感じていただけました。

本館前通路では、平成三〇年開催の全国植樹祭と全国林業後継者大会のPRやライシーホワイトとのお米計量ゲーム、農林水産物や六次化商品、木工品、漆器等の展示・販売が行われました。また、昔懐かしい竹馬やぼっくり体験、積み木のプール、積み木積み競争も開催され、子どもたちが喜んで体験していました。

展示館西側広場では、「チェーンソーアートショー」が二日に二回行わ



◀模擬上棟式

▼森のコンサート 22日



▲チェーンソーアートショー



▲木工工作体験



今年の作品▶



別表1 福島県チェーンソー選手権結果

	総合	種目別		
		合わせ 玉伐り	精密 玉伐り	玉伐り スピードトライアル
1位	中井田拓也 相馬地方 森林組合	秋山健人 東白川郡 森林組合	松本公浩 相馬地方 森林組合	蛭田 満 いわき市 森林組合
2位	鈴木俊輔 東白川郡 森林組合	中井田拓也 相馬地方 森林組合	中井田拓也 相馬地方 森林組合	有松秀吉 ふくしま中央森林組合 石川岩瀬等務所
3位	秋山健人 東白川郡 森林組合	鈴木俊輔 東白川郡 森林組合	佐藤盛人 相馬地方 森林組合	鈴木俊輔 東白川郡 森林組合

▼森のコンサート 21日



れ、丸太から生み出される動物たちの大胆で繊細な造形に観客が見入っていました。

多目的広場では、「平成二九年度福島県チェーンソー選手権」が開催され、二三名が、安全はもちろん、速さや正確さを競い合いました。（結果詳細…別表1）

北門からの通路脇では、ツリークライミング®体験も昨年引き続き行われました。

研修本館では、震災からの様々な復興活動や調査結果、木材やきのこの安全・安心の取組、松ぼっくり工作、木のおもちゃワークショップ、林業研究センターの研究成果ポスター発表が行われました。また、「森の昔話」や「木の家づくりセミナー」、さらには「きのこ品評会」への出品物販売と「きのこの郷土料理試食会」も行われ、大変好評でした。

きのこ振興センターでは、「森林の仕事ミニガイドス」も開催されました。研修本館前では、県産きのこ、木工品、農産物、林業機械、ペレットストーブなどの展示販売がコーナーを設けました。

また、二一日には、郡山市内のホテルバーデン吉祥の間において「平成二九年度福島県林業コンクール等表彰式」を開催し、林業コンクール、きのこ品評会等、七一件が表彰されました。（受賞内容は、各コンクールの紹介ページを参照ください。）

その後、同会場で、第四七回全国林業後継者大会開催を記念した「森林・林業フォーラム」を開催しました。『これからの林業経営の方向性と求められる人材像』と題した林野庁長官沖修司氏の講演と『林業の世界を伝えたい！』と題した福島市出身の童話作家堀米薫氏の講演を約一三〇名の方々が熱心に聴講するとともに、講演者に多くの質問が寄せられていました。

悪天候の中の開催でしたが、出展者、出演者など皆様のご協力により、二日間無事に実施することができました。今後も森林・林業関係者が一体となり、森林・林業・木材産業の復興、活性化に向け活動を継続してまいります。

# 平成二九年度福島県林業コンクール

福島県林業振興課

福島県林業コンクールは、林業技術の向上と林業経営の改善を図り、本県林業の発展を推進することを目的として開催しています。

今年度は、十件の応募があり、林業振興課職員による現地審査の後、十月六日に森林・林業関係団体等の代表者からなる審査委員会を開催し、各賞を決定しました。

森林の状況が保育期から利用期に移ってきていることから、林業コンクールについても時代の要請にこたえられるよう見直しを図りながら、林業経営者の方々の奮起材料となれるよう、これからも開催してまいります。



間伐部門県知事賞の森林

## 部門別表彰者

### 一 山林苗畑部門

福島県知事賞 佐藤 孫一

### 二 造林部門

福島県知事賞 遠藤 勝利

### 三 間伐部門

福島県知事賞 草野 平治

福島県木材協同組合連合会長賞 湯澤 敏雄

福島県森林組合連合会代表理事會 長賞 佐川 愛子

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会会長賞 佐川 重俊

農林中央金庫福島支店長賞 根本 井吉

奨励賞 志賀 恒夫

### 四 林業経営部門

福島県知事賞 斎藤桐材店

福島県林業経営者協会会長賞 齋藤 磐雄

渡部 善一

## 第十四回

# ふくしま森林・林業写真コンクール

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会

当協会では、森林整備の推進と森林・林業の振興に資するため、毎年度森林・林業写真コンクールを開催しています。

本年度は、応募人数は五六人、応募作品数は一〇〇点と多数の応募があり、十月四日、県写真連盟高橋良雄様を審査委員長に厳正に審査し、入賞作品を決定しました。

入賞作品については、第四二回福島県林業祭の一環として、郡山市「ホテルバーデン」で表彰式が開催されるとともに、林業祭開催期間中会場に展示しました。

今後は、「林業福島」の表紙に適宜掲載してまいります。



第42回福島県林業祭で展示

(最優秀賞、優秀賞及び特別賞の入賞者)

賞の種類		入賞者		
区分	賞名	市町村	氏名	題名
最優秀賞	福島県知事賞	いわき市	柏舘 健	巨木に負けない
優秀賞	公益社団法人 福島県森林・林業・緑化 協会会長賞	福島市	清野 善男	諏訪神社の御柱
		いわき市	長谷川錦治	里山の手入れ
		磐梯町	栗木 孝直	ホウノキ仮面と にらめっこ
特別賞	一般財団法人 福島県林業会館理事長賞	郡山市	佐藤 源策	も 森林は笑顔の泉

第六十八回

福島県学校関係緑化コンクール

福島県森林保全課

児童・生徒の緑化活動及び学校における環境教育の一層の推進を図るために、福島県及び福島県教育委員会の共催により毎年開催しています。今年は十四件（学校林等活動の部 三件、学校環境緑化の部 十一件）の応募があり、現地調査の上、受賞校を決定しました。

最優秀賞（県知事賞）は次の学校が受賞しました。

(1) 学校林等活動の部

・会津若松市立湊小学校

「猪苗代湖の水質調査」をテーマに、水源地の学校林の整備を通して、猪苗代湖のきれいな水を生み出している森林の有する水源涵養や水質浄化等の機能について学んでいます。



学校林での学習の様子  
(会津若松市立湊小学校)



学校林での学習の様子  
(いわき立田人中学校)



花壇を整備している様子  
(会津若松市立大戸小学校)

(2) 学校環境緑化の部

・会津若松市立大戸小学校

「花と緑の大戸小」をキャッチフレーズに緑の少年団活動を中心に子どもたちが毎朝の水やりや花の手入れ、校内樹木とのふれあいを、緑の豊かさ、大切さを学ぶとともに、環境緑化活動を推進しています。

・いわき市立田人中学校

林業体験を通して地域の林業従事者から林業についての専門的な知識を得ながら、地元の林業文化への考えを深めるとともに、伐採した木材からコースターを作製することで、身の回りの木材の循環活用について学んでいます。

第二〇回

福島県森林組合連合会良質材展示会

福島県森林組合連合会

去る十月十七日、いわき木材流通センター（平成八年開設）において「第二〇回福島県森林組合連合会良質材展示会」を開催しました。

この行事は、林野庁、関東森林管理局、福島県、福島県木材協同組合連合会からのご支援をいただき、毎年当センターの記念市と同時に開催しております。育林技術や造材技術の各項目ごとの評価審査（表1）に基づいて各賞を決定（表2）し、生産技術の改善向上や木材品質の向上、森林組合共販材の優秀性を広く紹介すること、また木材需給の安定に寄与することを目的に開催回数を重ねてまいりました。

展示会を開催し続けてこられましたのも、出荷者、買方者のご協力並びに関係機関のご指導・ご協力があったことと、この場をお借りし改めて感謝申し上げます。

森林組合系統の木材市場として消費者の皆様が福島県産材を安心して消費いただけるよう、需給体制の強化に全力で努めてまいりますので、今後も当センターをご利用ください。よろしくお願いいたします。



(表1)

審査項目	審査対象
育林技術	節の有無・大小
	年齢幅
	材の曲がり
	材の丸み・偏心
造材技術	材の光沢・色彩
	枝はらい
	材の切断面
総合	延寸
	商品価値・市場性

(表2)

賞名	受賞者名	住所	樹種	長級 (m)	径級 (cm)
林野庁長官賞	田村森林組合 代表理事組合長 矢吹 盛一	田村市	スギ	5.00	42-46
福島県知事賞	緑川農林 緑川 平隆	いわき市	ヒノキ	6.00	18-22
関東森林管理局長賞	有限会社豊田林業	いわき市	スギ	3.00	18-20
県木材協同組合連合会長賞	いわき市森林組合 代表理事組合長 田子 英司	いわき市	スギ	3.65	40-42
県木材協同組合連合会長賞	石嶋商事 石嶋美智男	田村市	スギ	3.65	40-42
県森林組合連合会長賞	常磐林業株式会社	いわき市	スギ	4.00	44-48
県森林組合連合会長賞	阿部 一郎	いわき市	スギ	4.00	30-40
県森林組合連合会長賞	水野 悦男	古殿町	スギ	3.65	42

平成29年度 福島県きのこ品評会出品数内訳

計	生しいたけ		乾しいたけ	なめこ・ひらたけ	参考出品(点)
	原木栽培部門	菌床栽培部門			
出品数	135	22	15	39	3

きのこのこまつりには、東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所事故により、三年間休止となりましたが、平成二六年からは、震災復興と県産きのこの振興を目的に、毎年開催しています。

きのこのこまつりにおいて、特に注目されているのが、「福島県きのこ品評会（以下「品評会」という）」です。今年、天候不順による発生不良もあり、出品数の減少が心配されましたが、生産者の方々の努力により、生しいたけ七八点、乾燥しいたけ十五点、なめ

《受賞者名簿》

●生しいたけの部

農林水産大臣賞（菌床栽培部門） 大野 一宏（天栄村）  
林野庁長官賞（原木栽培部門） 渡邊富士雄（本宮市）

○原木栽培部門

福島県知事賞 箭内 幸一（田村市）  
福島民報社代表取締役社長賞 菊池 久光（新地町）  
（公社）福島県森林・林業・緑化協会会長賞 青木 秀之（昭和村）  
全国農業協同組合連合会福島県本部長賞 渡部 一孝（昭和村）  
福島県きのこ振興協議会会長賞 大橋 茂美（伊達市）

○菌床栽培部門

福島県知事賞 芳賀 敏行（中島村）  
福島民友新聞社代表取締役社長賞 芳賀 大輔（中島村）  
（公社）福島県森林・林業・緑化協会会長賞 有限会社 遠藤きのこ園（川内村）  
福島県農業協同組合中央会会長賞 円谷 康夫（泉崎村）  
全国農業協同組合連合会福島県本部長賞 農事組合法人愛椎ファミリー（郡山市）  
福島県きのこ振興協議会会長賞 富士ソフト企画株式会社 会津営業所（西会津町）

●乾しいたけの部

林野庁長官賞（乾しいたけの部） 岩下 潔（喜多方市）  
福島県知事賞 佐藤 栄喜（磐梯町）  
全国椎茸商業協同組合連合会理事長賞 鈴木 吉一（磐梯町）  
（公社）福島県森林・林業・緑化協会会長賞 株式会社しもごう農園（下郷町）  
福島県きのこ振興協議会会長賞 國分 進（本宮市）

●なめこ・ひらたけの部

林野庁長官賞（なめこ・ひらたけの部） 有限会社 鈴木農園（郡山市）  
福島県知事賞 有限会社尾瀬きのこ園（南会津町）  
日本特用林産振興会会長賞 桐の里産業株式会社（三島町）  
（公社）福島県森林・林業・緑化協会会長賞 佐藤 芳樹（伊達市）  
福島県森林組合連合会代表理事会長賞 渡部 善一（下郷町）  
福島県きのこ振興協議会会長賞 円谷 康夫（泉崎村）

平成二九年度福島県きのこ品評会  
公益社団法人 福島県森林・林業・緑化協会 きのこ振興センター

十月二二日（土）、二二日（日）の両日、第四二回福島県林業祭の開催に併せ、「平成二九年度福島県きのこまつり（以下「きのこまつり」という）」を開催しました。

きのこまつりは、東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所事故により、三年間休止となりましたが、平成二六年からは、震災復興と県産きのこの振興を目的に、毎年開催しています。

きのこのこまつりには、東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所事故により、三年間休止となりましたが、平成二六年からは、震災復興と県産きのこの振興を目的に、毎年開催しています。

きのこのこまつりにおいて、特に注目されているのが、「福島県きのこ品評会（以下「品評会」という）」です。今年、天候不順による発生不良もあり、出品数の減少が心配されましたが、生産者の方々の努力により、生しいたけ七八点、乾燥しいたけ十五点、なめ

えが良く、来場された方も興味深くご覧になっていました。

品評会に合わせて良質なきのこを発生させることは、技術的に難しいことですが、生産者の方々のご協力のもと、今年も品質の良いきのこが数多く出品されました。出品されたきのこは、十月二一、二二日の両日に展示・販売しましたが、販売した出品物は三〇分から三十分に完売するなど、大変盛況のうち



農林水産大臣賞



展示会の様子

に幕を閉じることができました。風評被害などきのこ産業を取り巻く環境はまだ万全ではありませんが、毎年品評会を楽しみに来場される方も多く、今後品評会を開催するこ

## 兵庫県で県外研修

# 平成二九年度森林土木技術研修会

## 福島県森林土木建設業協会

福島県森林土木建設業協会では、会員の技術力の向上を図るため、各種研修会を開催しています。

近年、局地的集中豪雨等により、特定の区域だけに甚大な被害をもたらす自然災害が増えていることから、これらの被災からの復興状況を視察研修するため、今年度は十月三〇日から三二日にかけて十一名が参加し、兵庫県で研修会を実施しました。



有馬温泉地内の落葉山地区

一日目は、まず始めに平成二八年度復旧治山事業（緑越）で行っている有馬温泉にある落葉山地区の切土工・土留工について、兵庫県六甲治山事務所の竹下所長補佐より説明を受けました。騒音対策や、工事時間帯が限られる中での施工等、温泉街ならではの特殊性があるとのことでした。

引き続き、有馬温泉地内で現地を



丹波農林振興事務所との意見交換



丹波市市島地区の折り曲げた堰堤と鹿食害防止対策（苗に網をかけている）

視察しました。現場は、崖に近い急傾斜となっており、相当の難工事であると実感させられました。

次に、丹波市へ移動して、平成二六年豪雨災害で大きな被害を受けた丹波市市島町前山地区について、兵庫県丹波農林振興事務所の維田森林専門員より説明を受けました。被災箇所が多く、砂防・急傾斜（土木）及び治山事業（農林）を組み合わせて対応したこと、堰堤を折り曲げた特殊な谷止工があるとのことでした。

引き続き、現地視察を行いました。山並みに砂防と治山の現場がいくつも錯綜し、被害の大きさを実感するとともに、植林し、さらに苗の

鹿食害防止対策を行っている治山の現場とコンクリートが剥き出しの砂防の現場との違いを車中から走行中、交互に比較することができました。また、堰堤には死亡事故を踏まえた侵入防護柵が設置されるなどの特徴がありました。

翌日は、淡路市にある北淡震災記念公園へ行き、平成七年一月の兵庫県南部地震で出現した野島断層を視察しました。東日本大震災の経験もあり、地震の怖さや防災の重要性を再認識したところです。

二日間を通じ、参加した会員には今後の業務に大いに資する大変有意義な研修となりました。



研修参加者

## いわき地方における栽培わらびの 出荷制限解除に向けた取組

いわき農林事務所  
林業普及指導員 菅野陽美

東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い放出・拡散された放射性物質の影響により、事故から6年8ヶ月が経過した現在でも、いわき管内では8品目の山菜及びきのこについて出荷制限または出荷自粛の措置が取られています。

いわき市のわらびは、平成24年5月10日に出荷制限措置となりましたが、平成26年4月に「栽培わらびの出荷制限解除方針と申請手順」を県が定めたことから、林業普及指導員、いわき市役所及び直売所等が連携して、わらび生産者の把握を行い、栽培わらびの出荷制限解除に向けた取組を始めました。

平成27年3月からは、林業普及指導員が個別訪問によりわらび生産者6名に対して栽培管理や放射性物質低減対策に関する指導を行い、わらびのほ場については空間線量や土壌中放射性セシウム濃度測定といった生産環境の確認作業を行いました。その際には、ほ場周辺にポールを設置するといった区域の明確化作業を行い、また、広いほ場の場合は、ほ場内を一定面積のプロットに区域分けを行い、その区域ごとに土壌及びわらびの測定を行うなど、わらびの放射性セシウム濃度の分布状況を容易に把握できるよう工夫をしました。

生産者による栽培管理及び放射性物質低減対策の実施、プロット毎のわらびの検体採取・測定により、平成27年から28年にかけて実施した事前確認検査において、放射性セシウム濃度が低減傾向にあること、また、測定したわらびの大部分が基準値（100Bq/kg）の半分以下であることが確認されました。

平成29年に実施した出荷制限解除のためのモニタリング検査では、放射性セシウム濃度が基準値以下であることが確認され、国との協議の結果、9月11日にいわき市のわらび生産者6名の栽培わらびについて出荷制限が解除されました。これにより、出荷制限解除になった栽培わらびについては、出荷前にモニタリング検査を実施し安全性を確認した上で出荷が再開される予定です。

季節を感じる事ができる山菜やきのこは、地元の直売所では人気の商品であり、出荷制限等の解除に向けた取組は、急務の課題の一つとなっています。このため、いわき市、直売所、生産者団体等と連携を図りながら、ひとつでも多くの品目の出荷制限が解除できるよう、取組を続けていきます。



収穫・出荷が待ち遠しいです



わらびほ場の空間線量調査中です

森連だより

## 森林保険制度 創設80周年 記念シンポジウム



いわき市森林組合への授与

去る十月三十一日、森林保険制度創立八〇周年を記念したシンポジウムが東京都千代田区神田錦町の「学会館」にて開催されました。

主催者挨拶、沖林野庁長官、佐藤全国森林組合連合会会長の祝辞の後、表彰が行われ、本県からは、過去十年間継続的取扱量が面積、保険料ともに県内十七森林組合中トップで、県森連が行う森林組合系統利用優良表彰の部門において、三度受賞



ふくしま中央森林組合への授与

している「いわき市森林組合」が理事長感謝状を受賞されました。

また、十市町村を管轄し、市町村公有林契約の面積、保険料ともに県内十七森林組合中トップである「ふくしま中央森林組合」が森林保険センター所長感謝状を受賞されました。

表彰式後、筑波大学生命環境系准教授 興梠克久氏による「転換期の森林保険制度」についての基調講演が行われました。



その後、

「森林気象害の発生傾向と森林総合研究所における気象障害研究」について、森林総研森林災害・被害研究拠点 長 後藤義明氏、「人工林の気象災害リスクと森林保険」について森林総研林業経営・制作研究領域 久保山裕史氏、「森林組合運動における森林保険制度」について、全国森林組合連合会代表理事専務 肱黒直次氏、「岩手県における森林保険の現状」について、岩手県森林組合連合会会長中崎和久氏による講演に続いて、興梠准教授進行のもと、四名により森林保険の重要性と推進についてパネルディスカッションが行われました。

森林保険制度は、昭和十二年の制度発足以来、長きに渡り「森林国営保険」として運営されてきました。行政改革・財政改革の流れにより、平成二七年四月から、森林保険センターが設立され、森林保険法の



理事長感謝状授与者



森林保険センター所長感謝状授与者

下で、現在の「森林保険」業務が開

始されました。

しかしながら、木材価格の低迷、森林に対する関心離れ等により、森林保険の加入率が年々減ってきていることなどから、継続契約者においても継続契約が可能になるなど、サービス向上のために保険制度を見直した、改定保険制度が、平成三二年四月から開始されます。

近年、局地的に極めて大量の降雨が観測されたり、台風の進路が変化し今までとは違う地域が直撃されたりすることが目立ってきており、それに伴い甚大な森林被害が発生しております。

万が一の被害に備えて、皆様の大切な財産を守る「森林保険」へ是非ご加入ください。

「自然に親しむ」

福島県の巨樹・名木 | 33 |

# 赤井の大イチョウ

樹木医 鈴木俊行



「赤井の大イチョウ」は、会津若松市湊町赤井字赤井地内に生育している。生育地の赤井地区は、国道四九号の強清水から国道二九四号（茨城街道）を南へ約三キロメートルの場所にあ

る。また、磐越自動車道磐梯河東ICからは南東へ約五キロメートル、車で約二〇分、猪苗代湖へも約二キロメートルの場所である。大イチョウは、赤井集落の南側の畑や水田が広がる田園風景の中に、一本だけでこんもりとした森のようにどっしりと立っている。生育地の地形はほぼ平坦で、耕地整備が行われ周りは大きな水田や畑で囲まれている。

本樹にまつわる伝説等は、弘和年間（一三八一〜一三八四）の頃、黒川城（鶴ヶ城）城主芦名直盛の弟、田中六郎左エ門が、その品行粗暴との理由でこの地に閉居させられ、この付近に一町六反歩の土地を与えられた。六郎左エ門はこの土地を耕しつつ暮らした。この大イチョウは閉居時代の家の庭木だったと伝えられている。推定樹齢は約六〇〇

年とも八〇〇年ともいわれ、昭和四九年二月十三日に会津若松市指定天然記念物に指定され、昭和五八年二月十七日に県緑の文化財に登録されている。

本樹の樹種はイチョウ (Cinkgo jilota) で、イチョウ科イチョウ属の落葉高木である。雌雄異株で、繁殖力が強く、生長が早く、燃えにくく大気汚染や寒さに強い。また、強剪定に耐えることなどから街路樹や公園樹として人為的に広く栽培、植栽されている。イチョウの名前の由来は、中国語で、葉の形を水かきのあるアヒルの足に見立てて「鴨脚（イーチャオ）」と呼ぶので、そこから転じたものといわれているが定かでない。

イチョウといえば種子は、銀杏と呼ばれ秋の食材として人気があるが、熟すと肉質化した外皮が異臭を放つ。異臭の主成分は酪酸とヘプタン酸で、ネズミなどの動物は食べようとしなない。また銀杏はギンコール酸などを含み、漆などのようにかぶれなどの皮膚炎を引き起こすことも



あるので、銀杏の収穫の際はゴム手袋は必需品である。近年ではドイツで、イチョウ葉エキスが認知症の改善に効果があるとして医薬品として認証され、数々の臨床試験においてイチョウのさまざまな有効性が報告されていることから、今後イチョウがますます注目される存在になるとに違いない。

本樹の樹高は二四・〇〇メートル、幹周九・五〇メートル、根元周一六・〇〇メートルで会津地方で有数のイチョウの巨木である。主枝からは多くの「ちち」（乳根）が垂れ下り、地元では「乳イチョウ」と呼ばれ親しまれている。枝張りは一〇・五〇メートル、西一二・五〇メートル、南一二・〇〇メートル、北一四・五〇メートルと四方に大きく枝を伸ばし箒状の樹形は圧倒的な存在感で威厳を感じさせる。

長い間風雪に耐え、地域を見守つて来た巨木は、地域のシンボルでもある。磐梯山を背にどっしりと立っている美しい樹形のイチョウの巨木に、感動し圧倒されるにちがいない。

# 木材市況

## 素材の価格〈工場着価格〉(9月15日現在)

(単位：m当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	9 (8~10)	0	(0~0)		9 (8~9)	0	9 (8~10)	0
		10~14				11 (10~12)	0	(0~0)		11 (10~11)	0	11 (10~12)	0
	中	14~22	3.00	並	スギ	12 (11~12)	0	11 (11~11)		12 (11~13)	0	12 (11~13)	0
					ヒノキ	19 (15~24)	0	(0~0)		14 (14~15)	△1	17 (14~24)	0
		20~28	6.00	並	スギ	16 (15~17)	0	11 (10~12)	1	15 (13~16)	△1	14 (10~17)	△1
					ヒノキ	29 (24~34)	0	(0~0)		20 (17~24)	△1	25 (17~34)	0
			3.65	並	スギ	10 (9~12)	0	11 (10~12)	0	11 (11~11)	0	11 (9~12)	0
						4.00	並	10 (9~12)	0	11 (11~11)	△1	11 (11~11)	0
	4.00	並	アカマツ	9 (7~11)	0	(0~0)		10 (9~10)	1	9 (7~11)	0		
				1.80	並	8 (5~10)	0	(0~0)		7 (6~7)	0	7 (5~10)	0
外材	30以上	10.00	並	米ツガ	(0~0)		(0~0)		28 (28~28)	0	28 (28~28)	0	
				米マツ	(0~0)		30 (30~30)	3	29 (28~29)	0	29 (28~30)	1	
	28以下	3.80	並	エゾマツ	(0~0)		(0~0)		28 (27~28)	0	28 (27~28)	0	
				4.00	並	アカマツ	(0~0)		(0~0)		25 (25~25)	0	25 (25~25)
並	カラマツ	(0~0)	(0~0)	(0~0)	26 (25~27)	0	26 (25~27)	0	26 (25~27)	0			
パルプ用材	並	マツ	6 (6~6)	0	(0~0)		5 (5~5)	0	6 (5~6)	0			
											並	広葉樹	9 (9~9)

八月の原木市場への入荷状況は、前月比七割減（前年比六割増）の一九、七三六立方メートルとなっている。販売量は、前月比一割増（前年比九割増）の二〇、七四六立方メートルとなっている。九月の価格は保合いとなっている。

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	7 (6~8)	0	7 (6~9)	0
	13~14			カラマツ	9 (8~9)	0	8 (7~8)	0
	16以上			カラマツ	13 (13~13)	0	10 (9~11)	0

- 注) 1. 前月差の△印は値下りを示す。  
 2. ( )内は各地域の価格幅、( )外は各地域の平均価格を示す。  
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。  
 4. 各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。

緩衝帯整備とは、人の生活圏と野生動物の生息地との間に緩衝地帯を設けることです。人里に近い森林内の見通しが悪くなると、そこに隠れて、野生動物が人里に近づいてきます。その対策として、人里に近い森林の裾を数一〇メートル幅で除伐、刈り払い等を行うことにより見通しを確保し、野生動物が人里に近づきにくい環境を整えます。

緩衝帯整備と併せ、クマ剥ぎを防止するためのテープ巻きを実施している箇所もあります。樹木の下方に何周かテープを巻き付けることにより、物理的に樹皮が剥がれるのを防ぐことに加え、クマが異物を嫌がることによる防除効果も期待されます。



クマ剥ぎ対策のテープ巻き



### 南会津における

### 里山林の整備について

南会津農林事務所 山口 公康

近年、人々と里山林との関わりが薄れてきており、里山林の荒廃に伴う森林の機能低下や野生動物の生息域拡大が課題となっています。南会津郡内においても、クマやシカ、サル等の目撃が多くなっており、農作物被害やクマによる樹皮剥ぎの被害等が確認されています。そのような状況に対応するため、森林環境税を財源として平成二八年度より開始された里山林整備事業を活用して、緩衝帯整備、景観整備や剥皮被害対策等を実施しているところとです。

また、手入れがされず荒廃した里山林の景観を改善するため、景観整備を実施している箇所もあります。南会津管内においては、里山林整備事業の事業主体は行政区である場合が多いのですが、地区の方々から「実施して良かった。今後も継続して実施したい。」との声を多くいただいております。人と野生動物との共生のための森林環境を整え、併せて森林づくりへの意識を醸成することを目指し、今後も里山林整備を推進していく所存です。

はなしの  
ひろば

役目

今年、葉がまだ覆い繁っていたが、庭の柿を、例年より少し早目にとつた。すると、柿の葉は、みるみる落葉を始めた。まるで今年の自分の役目を終えたことを自分自身で悟ったようだった。役目を終えた老木のゴツゴツとした樹皮を撫でながら「ご苦労様、今年もありがとう」と声をかける。見上げると「なり木の木守り」柿二つの橙色が、初冬の晴れた空に美しく映え、木守りの役目を堂々と果たしている。

木守りは木を守るなり／鴉のとりのも鴨どりも／尊みてついでまずけり／みぞれ待ち雪のふる待ち／かくてほろぶる日をまつか（三好達治「残果」より）今年、木守り柿が自然に朽ちていくまでその姿を見守るのが私の役目か。縁側に坐り、実がなくなつた柿の木を眺めながらそんなことを思う。そして（私は、今年自分に課せられた役目をきちんと果たせただろうか）とふと振り返つてみる。

街路樹も、四季の移り変わりに逆らうことなく身を委ね、葉を落した立ち姿の何と美しいことか。

また、新聞では「二〇一七県内十大ニュース」を募集する頃となつた。その十大ニュースをわが身に置き換えてみるが、十大どころか一つも思いあたることがない。皆様はどうだろうか。自分自身のニュースを抱えた人もそうでない人も同じように年は暮れていく。私自身、特筆するニュースはないが、今年も無事に一年を締めくくれることに感謝しかない。

除夜の鐘を聞きながら「今年に静かにあいさつ」をして一年を終えようと思う。

師走といえ、皆様どうぞ、心穏やかな年の暮れを。

（都）

表紙の写真



「森林は笑顔の泉」

第14回ふくしま森林・林業写真コンクール特別賞  
受賞者 佐藤源策さん（郡山市）  
撮影場所：福島県林業研究センター

編集

発行人

福島県内四森林管理署  
福島県森林・林業・緑化協会  
福島県森林組合連合会  
福島県木材協同組合連合会  
福島県農林種苗農業協同組合  
ふくしま緑の森づくり公社  
森林研究整備機構福島水源林整備事務所  
福島県森林・林業・緑化協会  
（福島市中町五番一八号県林業会館内）

日光社印刷株式会社  
（定価 一〇八円）

お知らせコーナー

平成29年度「森の名手・名人」が選ばれました！

国土緑化運動の一環として日本を代表する文化人等を結集し、社会一般が更に森林と向き合っていく気運を醸成することを目的に、平成14年11月、「もりのくににっぼん運動」が開始されました。

このリーディングプロジェクトとして、（公社）国土緑化推進機構では、森に関わる生業において、優れた技を極め、他の模範となっている達人を「森の名手・名人」として毎年選定を行っています。



本年度福島県からは別表の3名が選定され、平成29年11月11日（土）に開催された「第15回うつくしま育樹祭」において、認定書伝達式が行われました。

市町村	部門	生業等	氏名
いわき市	加工	指物師	赤津 隆
いわき市	森づくり	道づくり	豊田 新一
下郷町	伝承文化	茅葺き	吉村 徳男

平成29年度林業普及指導員

東北・北海道ブロックシンポジウムで最優秀賞を受賞

～福島県南農林事務所 主任主査 笠原 航氏～

平成29年9月21日（木）～22日（金）に、青森県で開催された標記シンポジウムにおいて、本県代表として参加した福島県南農林事務所 笠原主任主査は最優秀賞を受賞しました。

笠原主任主査は、「新規就業者の確保に向けた人材育成の取組～高等学校と連携した事例紹介～」と題し、本県森林・林業の復興の担い手となる若手の新規就業者を確保することを目的として、地元の高校生及び教職員に対する林業現場見学会等の取組を発表し、高く評価されたものです。

なお、笠原主任主査は、平成29年12月5日（火）に東京で開催される「林業普及指導員全国シンポジウム」で、東北・北海道ブロック代表として発表することになっています。



# 備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



## 1 火災

山火事で受けた損害



## 2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



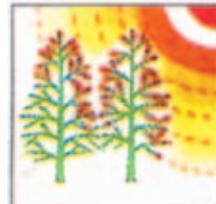
## 3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



## 4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



## 5 干害

乾燥による枯死などの損害



## 6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



## 7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



## 8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

◆福島県森林組合連合会  
TEL024-523-0255(代)

または最寄りの森林組合

イワフジのタワーヤーダ

## TY-U5C タワーヤーダ

IWAFUJI  
INDUSTRIAL CO., LTD.

橋脚型エンドレスタイラー方式に対応した  
5脚式タワーヤーダ  
上行荷・下行荷ともに橋取り集材が可能



For the future with forest

**イワフジ工業株式会社 北関東支店**

[www.iwafuji.co.jp](http://www.iwafuji.co.jp)

(北関東支店) 福島県郡山市八山田5-314  
TEL 024-973-5168 FAX 024-973-5168

(本社・工場) 岩手県奥州市水沢区桜屋敷西5-1  
TEL 0197-23-3111 FAX 0197-25-3177

(支店) 札幌・東北・北関東・関東・中部・関西・九州

# 緑地管理の未来をひらく

レインボー薬品株式会社と住化グリーン株式会社は、非農耕地向け事業のリーディングカンパニーを目指すことを目的とし、平成29年10月1日をもちまして合併いたしました。

お客様の信頼を第一に全力を尽くす所存でございます。  
引き続きのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年12月吉日

## 松くい虫予防薬剤

ヤシマスミバイン乳剤  
スミバインMC  
マツグリーン液剤2  
グリーンガード・NEO

## くん蒸剤

ヤシマNCS

## くん蒸用生分解性シート

くん蒸与作シート

## ハチ退治

ハチノックL (巢処理用スプレー)  
ハチノックS (携帯用スプレー)



## レインボー薬品株式会社

東京都台東区上野 1-19-10  
お問い合わせ TEL. 03(6740)7777  
平日 9:00~17:00 (土・日・祝日は休み)

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

# 機器はゼノアから

## チッパシュレッダ



最大処理径  
200mm

竹もOK!

**SR3100**

出力 18.4kW (質量1,330kg)

水冷ディーゼル

967634301

¥3,580,000(税抜)

## ハンマナイフモア



**ZHM1550**

出力 27.5kW (質量1600kg)

967081901

¥5,860,000(税抜)



**ZHM800**

出力 7.4kW (質量230kg)

967088901

¥748,000(税抜)

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店

**(有)うねめ林業機械**

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1